



長友 活性化するためには市内、市外に向けてやって行って欲しいのですがポイントとしてはインパクトがあり、永続的であるかどうか？ という事になります。

渡邊 青年会議所には自営業の方が8割います。仕事と街づくりを関連させ街を支えられて行くような事が出来ればと思います。ゲゲゲの女房効果で、観光客も増えておりますが今後も、調布のタカラを見つけて発信していきたいと思っています。

長友 40周年という事は半世紀(50周年)に向けた出だしの一歩となります。今後も、青少年など長期にわたり良い影響を与えて頂き、付加価値の少しでも高いものを築いてほしい。今後も調布青年会議所に期待していますのでよろしくお願ひします。

調布市内経済

地域産業の発展による経済の活性化(交通整備、ゲゲゲの女房など)

辺数十メートルの広さでイベントに使えるようになる予定です。今、駅前広場整備計画を詰めているところで、出来るかどうかの判断は後日となりますが調布市民の為に青年会議所として市民からの最新情報をフォローしアイデアを出して頂きたいです。また、布田、国領の駅前スペースもあるので、地元中心に考えて頂きたいとも思います。

民間の営利活動であれば誰かがやっているのでは、そうでない市民との狭間で結果として調布の利益につなげていければと思います。世の中のテンポが早く、新しい事をやるには度胸が必要になりますが、本音の話で市民からの意見もくみ取って頂き是非、個別のアイデアもどんどん頂きたいですね。

市長と対談

2010.8.6 調布市役所にて
調布のまちづくりと、今後の調布青年会議所に期待すること



写真左より 清水運営幹事、長友市長、渡邊理事長、三ツ木委員長



渡邊理事長（以下渡邊） 本日はお忙しい中、お時間を割いて頂きありがとうございます。

市としては本番が円滑に進むよう東京都とも話しつつ準備を始めていきます。

長友市長（以下長友） まずは、

開催年の前年にはリハーサルも行う予定です。

調布青年会議所40周年おめでとうございます。いままでの功績も踏まえ今後のJC活動を期待させて頂きたいと思います。

渡邊 ありがとうございます。

教育委員会へは予行演習を含め、子供たちにも見せる場を依頼し、各日本体育協会傘下の団体がスムーズに協力できるようにしたいと思います。

我が、調布青年会議所40周年を迎え5年10年先を見据え行政と手を組みつつ検討していきたいと思っております。そのために、行政と向き合う為の今後の方向性についてご意見をお聞かせ頂ければ幸いです。

また、市民が参加出来る場を作りたいので、その役割を調布青年会議所で見つけて頂き、市民と一体になって協力して頂きたいと思っています。

スポーツについて

青少年育成について

渡邊 今後行われる多摩国体開催について、調布青年会議所がどのように関わることで、より調布市を活性化できるかアドバイスを頂ければと思います。

渡邊 青少年育成について、子供ではなく親が悪いという話を耳にしますので、親に対しての指導が必要ではと考えています。

長友 多摩国体については、各競技の運営など非常に多くの人の動員が必要となり

2008年より「かしの冒険王国」という宿泊体験を行っておりカニ山での宿泊、宝探し、星の観測、座禅などを実施してきました。

伝いながら行う事業を行っていきたいと思います。

今後、事業をマニュアル化し市内各所で行えるようにし、親が手躍りたいと考えています。

長友 体験学習などを児童館が行っているようですが子供たちが自分の手を動かす事、触れる体験など欠けているように感じています。是非、引き続き、わんぱく相撲、ソフトボールなどをお願いしたいです。

長友 多くのボランティア団体、福祉事業団体、民間作業サークル等があるので、そちらと話をしてみたいかがでしょうか？

職場体験については、企業側のみ責任ではなく、多くの問題を抱えており、受け入れていただける場を少しでも多く見つけて欲しいと思います。

障害者への対応については、作業所や社会福祉協議会と具体的に話をして頂きその中から問題点を拾い上げて青年会議所で解決して頂きたいです。

青年会議所として出来ることを見いだせていって欲しいとも思います。

京王線立体化について

福祉について

駅前広場の活用

渡邊 いままであまり、積極的に取り組めておらず

渡邊 駅前広場を使い、調布の神輿を集め、府中の暗闇祭りのようなイベントを行いたいと思っています。

現在は社会福祉協議会の福祉祭りに参加しているのみですが、

福祉の街調布を目指し、調布市として踏み入れていない部分でも活

長友 駅前広場はかなり広いスペースで全体では新宿西口位の広さ、

